



堺市 NPO 地域子育てワークショップ



DATA

- 主な連携先・メンバー NPO法人 子育てネットみちくさ
- ■活動地域 関西大学堺キャンパス
- 活動期間 2012年度~2019年度
- 活動資金 堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 子育て中の親子が集う場をつくり、親同士が交流し子育ての知恵を伝え あうとともに、子どもが一緒に遊び育ちあう場を提供する
- 2 地域に暮らすさまざまな人々とのふれあいを通じ、人間関係を豊かに し、地域で育ち、育てられる関係を構築していく



地域において、子育て中の親同士が交流できる場所へのニーズが高まってきていることから、 堺市で活動しているNPO法人子育てネットみちくさと連携し、グループワークを活用した子育て 支援講座を実施することとなった。



就学前の子どもと保護者の方を対象として、親子がふれあえる遊びの提供や、親同士・子ど も同士が交流できるワークショップを2ヶ月に1度の頻度で開催している。新聞紙や紙皿・紙コ ップなど身近にあるものを使った遊びやおもちゃ作りを行い、昔からのあそびを思い出したり、 家での遊びやふれあいのヒントを提供。日ごろあまり経験ができない集団での遊びや、リズムに のって身体を動かし親子でふれあう遊びなど、親子で身体を動かす喜びを感じてもらう。また、 あまり観る機会が少ない人形劇についても、物語を楽しむと同時に、手作り人形がどのようにし て作られているかなどの関心を持たせるようにしている。遊びの前には、おもちゃや絵本を囲ん で親同士、子ども同士が交流できる時間を設けており、子育てに関する情報コーナーも設置して いる。

【2019年度テーマ一覧】

- ・第1回 「みんなであそぼう! みぢかなもので!手づくりおもちゃをつくろう!」
- ・第2回 「みんなであそぼう! 夏まつりだよ!」
- ・第3回 「みんなであそぼう! しんぶんしであそぼう!」
- ・第4回 「みんなであそぼう! リズムでつながろう!」
- ・第5回 「みんなであそぼう! 人形劇おっくんのぱっくんシアター」





口活動の成果

- 1 日ごろ経験できない広い空間で同世代の子ども同士が遊んだ り、親子で楽しんでいる様子を伺うことができた
- 2 父親も一緒に参加している家庭が多くあり、ともに子育てを 楽しむ機会になっている

Q今後の課題・日標

- ↑対象が未就学児の0歳~6歳と年齢幅が広い ため、対象にあったすべての子どもが楽しめる ようなワークショップにすること
- う参加者が少なくなってきているため、地域の子育
 て家庭へのPR方法に工夫が必要



■人間健康学部 教授 山縣文治 Fumiharu Yamagata 学生時代から子ども家庭福祉に 関心をもち、教員になってからも その課題を追い続けている。



■人間健康学部 教授 岡田忠克Tadakatsu Okada

1970年大阪府堺市生まれ。大阪市立大学大学院生 活科学研究科後期博士課程単位取得後退学。現在、 関 西大学人間健康学部教授。博士(学術)。専門は社会福 祉政策で、主著は、『社会福祉の理論と政策』(中央法規 出版)、『よくわかる社会福祉』(ミネルヴァ書房)、『転換 期における福祉国家」(関西大学出版部)、ほか多数。



■人間健康学部 准教授 福田公教 Kiminori Fukuda

専門は社会福祉学、子ども家庭福祉 論。社会的養護の普及・啓発および 社会的養護下にある子どもの自立支 援のあり方について研究を進めてい る。妻とともにはぐくみホーム(養育里 親)をつとめている。